

大仙市・仙北市
美郷町版

発行 みのり川信英後援会



かえる通信

みのり川信英公式ホームページ <http://minorikawa.jp>

平成21年度
国の予算特集



大仙市・仙北市・美郷町の振興に全力!

船運の歴史と花火を活かして 大曲地区かわまちづくりが認定に

地域の特色を活かした治水事業を行うため、国は今年度から新たに「かわまちづくり支援制度」を創出しました。これは、まちづくりと一体となった河川整備を推進する市町村を国が支援するもので、この度大仙市を含む全国67件の計画を認定しました。

大仙市の計画は、角間川、大曲、神宮寺の3地区を中心に、「かわ」と「まち」を散策路で結びネットワーク化することによって、地域の特徴である船運の歴史や花火などを活用した交流拠点を整備するものです。

雄物川、玉川、丸子川などの水辺に良好な河川環境を作り出すことによって、地域の皆様の生活や産業の発展に大きく貢献できるものと思います。

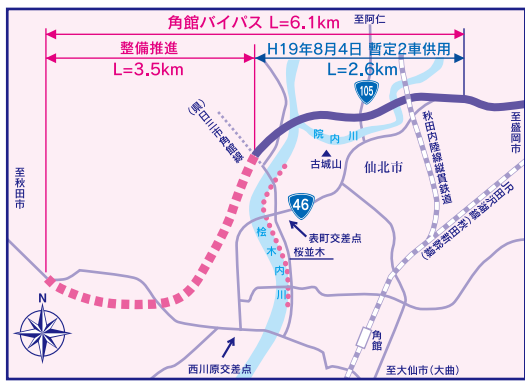


全国花火競技大会

神宮寺バイパスが一部開通 角館バイパスも工事推進

国道13号線の神岡バイパスは、平成14年から工事に着手し、平成24年の完成を目指しています。今年度は、12億8,000万円で工事を実施し、大仙市神宮寺西田～大坪区間が暫定2車線で一部開通します。

また、秋田県と岩手県の地域間交流や観光産業支援に大きく貢献する国道46号角館バイパスは、平成19年8月に仙北市田沢湖羽根ヶ台～角館町小勝田までの2.6Kmが開通しておりますが、今年度は15億円の予算で、終点の月見堂までの区間3.5Kmについて、用地買収並びに改良工事、入見内川橋下部工の工事を行います。



神宮寺バイパスの工事風景



角館バイパス

老朽化した橋梁や舗装の修繕

国道13号と46号は地域の主要道路であり、緊急輸送道路にも定められています。地震などで道路が壊れて、被災地の救済や復旧活動、さらには地域社会や経済活動にも影響を及ぼさないよう、橋梁の補修や舗装の維持修繕などの予算をできる限り確保しました。



老朽化した舗装道路

北檜岡歩道の工事に着手

大仙市北檜岡地域の歩道は、北神小学校、平和中学校の通学路となっていますが、歩道の横断部分の傾斜が急で、特に冬期間の雪道では、お年寄りや通学の生徒が転倒するなど危険な状態となっています。そこで、今年1月に地域の皆様との意見交換会を経て、歩道の傾斜を緩くする改良や融雪側溝を整備するなどして、冬期間も安心・安全に通行できるよう、今年度から新規に歩道工事に着手することになりました。

今後も、交通安全対策を重点的に推進していきたいと思えます。



北檜岡地区の歩道の現況

河川・砂防整備事業も順調に

古より農業や運送業にとって大いなる恵みである河川は、一方で人々の生活や生命を脅かす自然災害をもたらします。雄物川中上流部の改修を推進すると共に八幡平山系の土砂災害を予防すべく砂防事業を推進するため必要な予算を確保しました。



道路整備に関する主な事業	事業費
■一般国道整備事業(直轄) ・R13 大曲バイパス (3億2,000万円) ・R13 神宮寺バイパス (12億8,000万円) ・R46 角館バイパス (15億円) ・R13 耐震補強 (1億2,000万円) ・R13 大曲防災除雪ステーション (3億円)	35億2,000万円
■交通安全補助事業(統合補助) ・秋田県南地区	5億7,000万円
■地方道整備事業(地域連携) ・美郷町、舗装補修、長寿命化修繕計画等	6,300万円

河川整備に関する主な事業	事業費
■直轄河川事業 ・雄物川上流	56億3,360万円
■広域基幹河川改修事業 ・淀川 (5,000万円) ・旧雄物川 (10億円) ・玉川 (3億6,000万円)	14億1,000万円
■総合水系環境整備事業 ・雄物川水系	3億2,600万円
■総合流域防災事業 ・雄物川圏域	5億7,400万円
■直轄火山砂防事業 ・仙北市田沢湖生保内(八幡平山系)	6億6,900万円
■通常砂防事業 ・美郷町浪花小杉崎沢川	1億7,000万円